



中根さちのハーフレター

日本共産党 高知県議会活動報告ニュース 県議会控室 823-9524 高知市丸之内1-2-20
自宅 872-9324 高知市福井町1475-3

2022.3.20
NO.722

日本共産党中央委員会議長 中根さち
高知・中根氏 協議進展みられず
一般質問に立ち妊産婦医療費助成制度の創設などを取り上げました。
昨年の9月議会で中根氏が妊産婦医療費助成制度の創設を求めたのに対し、山地和子・子ども・福祉政策部長は全市町村が足並みをそろえて導入できる効果的な施策を検討したと答弁しています。中根氏はその後の進捗状況を(しんじょう)質問。山地部長は財政負担が大きくなる自治体が慎重で、現時点では協議に進展がみられず厳しい状況だと回答しました。

中根氏は「足並みがそろわないと実施できないことに納得できません」とのべ、乳幼児医療費助成制度の導入などが足並みがそろったことに言及。産婦人科の数が限られ安心して出産できる環境がないことに妊娠時のみ現れています。

お知らせ 3月無料法律相談

3月30日(水)

午後6:00~

日本共産党中央委員会議長
南拓人弁護士、市議、県議が
うかがいます。

要予約 090-6280-3860
(中根まで)

日本共産党も
ウクライナ支援、
募金にとりくんで
います。

郵便振替
印合番号
00170-7-98422

△加入者名
日本共産党中央委員会

* 通信欄に「ウクライナ募金」と明記してください。

* 全額ユニセフ
国連難民高等弁務官事務所に
ヒビケます。

日本共産党中央委員会議長 中根さち
高知・中根氏 協議進展みられず
一般質問に立ち妊産婦医療費助成制度の創設などを取り上げました。今年度、県が買い取ることを指摘。「人口の多い自治体が今の時点でやろうとしないから」といって、妊産婦が必要とする援助制度をつくることが遅れるのは残念だとのべ、「この2年の検討を制度として結果させるべきだ」と求めました。

山地部長は「全市町村が足並みをそろえて実施する制度にすることが必要だ」などの答弁に終始しました。山地部長は「全市町村が足並みをそろえて結果させるべきだ」と求めました。

日本共産党中央委員会議長 中根さち
高知・中根氏 協議進展みられず
一般質問に立ち妊産婦医療費助成制度の創設などを取り上げました。今年度、県が買い取ることを指摘。「人口の多い自治体が今の時点でやろうとしないから」といって、妊産婦が必要とする援助制度をつくることが遅れるのは残念だとのべ、「この2年の検討を制度として結果させるべきだ」と求めました。

山地部長は「全市町村が足並みをそろえて実施する制度にすることが必要だ」などの答弁に終始しました。山地部長は「全市町村が足並みをそろえて結果させるべきだ」と求めました。

日本共産党中央委員会議長 中根さち
高知・中根氏 協議進展みられず
一般質問に立ち妊産婦医療費助成制度の創設などを取り上げました。今年度、県が買い取ることを指摘。「人口の多い自治体が今の時点でやろうとしないから」といって、妊産婦が必要とする援助制度をつくることが遅れるのは残念だとのべ、「この2年の検討を制度として結果させるべきだ」と求めました。

山地部長は「全市町村が足並みをそろえて実施する制度にすることが必要だ」などの答弁に終始しました。山地部長は「全市町村が足並みをそろえて結果させるべきだ」と求めました。

県議会開会中

妊産婦医療費助成制度を

高知・中根氏 協議進展みられず

日本共産党中央委員会議長 中根さち
高知・塙地氏

日本共産党中央委員会議長 中根さち
高知・塙地氏
は、施設運営にあたって地元の住民の協力が必要になるとして、地元への説明を求めました。岡村部長は「できるかぎり早い時期に説明する」と答えました。

日本共産党中央委員会議長 中根さち
高知・塙地氏
は、施設運営にあたって地元の住民の協力が必要になるとして、地元への説明を求めました。岡村部長は「できるかぎり早い時期に説明する」と答えました。

日本共産党中央委員会議長 中根さち
高知・塙地氏
は、施設運営にあたって地元の住民の協力が必要になるとして、地元への説明を求めました。岡村部長は「できるかぎり早い時期に説明する」と答えました。

日本共産党中央委員会議長 中根さち
高知・塙地氏
は、施設運営にあたって地元の住民の協力が必要になるとして、地元への説明を求めました。岡村部長は「できるかぎり早い時期に説明する」と答えました。

てくてく歩記

脳がすみ、花粉が氣に
なることがあります。
高知港でつり糸をたらし
ながら、日々樂しいです
皆さんのから、海の
色が赤黒くていた
いどうしたんだか
の声が。同じ29
23、鏡川のよみれ
が氣にならぬ声。
気候状況を含め
環境問題も身近な物で
いるのです。

放射線被ばくを理解するT-249 シンホジウム ～ビキニ環礁水爆実験等～ 開催

高知県健康政策部健康対策課主催のシンポジウムが3月12日に開かれ、コロナ感染防止対策をとりながら、ライブ配信を行いました。広島大学の廣橋先生は、被爆とは何か、内部被曝と外部被曝のちかいなど、科学的に基本的知識を深めお話しを、広島大名誉教授の鎌田先生は、「黒い雨」とビキニ被爆は、とともに内部被曝であり、共に政治的な側面においてかけられ放置されてきたことがうきぼりになりました。政府の責任は重く、被爆者を危がなければなりません。